

保護者等向け

児童発達支援評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○				・十分な広さはあると思うが、外で運動するスペースがあれば良いと思う。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	○				・常勤専門職（臨床心理士・作業療法士）や保育士を含む職員の増員 ・それぞれ担当の方と話ができるので分かりやすいと思う。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○				・絵本を読んでいる部屋、身体を動かす部屋があるので、本人に分かりやすいと思う。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○				・いつも整頓されている。きれいで清潔にしている。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	○				・本当に頻繁に見直してくれている。 ・よく話を聞いてくれている。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				・細かく聞き取りしてくれて、そこからどんな支援ができるか、親身になって一緒に考えてくれる。・まずできそうな事から設定してくれていると思う。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				・その時に合った課題と支援をしてくれている。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	○				・半年毎にいつも丁寧に聞き取り調査をしてくれている。 ・次々と色々な物を作って用意しているので色々と学べていると思う。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				○	・幼稚園に通っているので特に必要とは思わない。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○				・紙面で伝えてくれる。 ・時間をとって話しをしてくれた。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	○				・契約書を交わす時に伝えてくれた。
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	○				・子どもの問題行動への対処法などをロールプレイなどを使ったりして教えて欲しい。いつも子どもを送った後の様子が分からないので、先生がどのように声かけしているのか、口調など参考にしたいので、ぜひペアレントトレーニングをして欲しい。 ・どう接するか教えてくれている。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	○				・連絡帳や送迎時に話しをして、どんな事ができる様になったかを教えてくれる。

保護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	○				<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時にいつも「今日はこうでしたよ。」など教えてくれるので安心できる。 ・送迎時に話すだけなので、たまに時間をとって話を聞いてもらえると助かる。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか				○	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士で集まって(子どもの年齢を問わず)情報交換できたらいいと思う。子どもの少し先の成長を想像しやすいかなと思う。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	○				<ul style="list-style-type: none"> ・ちょっとした事でも相談しやすいし配慮してくれる。子どものいない場で相談や診察をして欲しいなどの要望にも対応してくれる。 ・小児科の先生に聞いてくれるので安心している。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○				<ul style="list-style-type: none"> ・迎えに行った時に子どもの様子やその日した事を詳しく教えてくれ、連絡帳も丁寧に書いてくれていて嬉しく思う。 ・話しがしやすい様に気にかけて相談してくれているように感じる。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか				○	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	○				<ul style="list-style-type: none"> ・注意していると聞いた。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・訓練をしているのを見聞きした事がない。 ・訓練を行ったと聞いた。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	○				
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	○				<ul style="list-style-type: none"> ・先生が子どもの様子を見ながら対応してくれているので子どもも安心できるんだと思う。 ・ニコニコ笑顔で先生に抱きついて行っているのが楽しんでいると感じる。
	23	事業所の支援に満足しているか	○				<ul style="list-style-type: none"> ・人手不足の感じがする。保育士の先生の負担が大きいので事務職員や臨床心理士の先生もいたら良いと思う。 ・出来る事も増えてきてありがたい。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。